

三陸鐵道(株)

企 画 書

三陸鉄道開業に伴う企画活動を終えて

昭和59年4月1日開業に向つて私共は、昭和58年3月より駅のネーミングに始まり、さまざまなイベント計画に際し、販売促進の分野まで、独自の企画を提出してまいりました。

いうまでもなく、三陸鉄道の将来は、沿線各市町村、県全体の力に加えて、国鉄、航空、バス等、各方面の協力を得なければ、明かるいものとは言えません。この実現には、重鎮の方々にお任せすることにして、もう一方の駅及び駅周辺をどう変革していくかを考えました。

駅での乗降客の待合せと地域住民の活動を、積極的に融合させ— 駅に行けば何かがある — ようにさせることが目的です。

又、「海とは切離せない三陸鉄道」ですから、この観点からも考えてみました。

以下、御高覧の上、今後の発展の参考にして戴ければ幸いと存じます。

☆企画の方針

1. 鉄道自体を活性化する。

○車両自体を楽ししいものとする。

例1. 一両一両デザインを変えるー全部の車に乗ってみたく
なるように

例2. 一両一両名前をつけるー琥珀いろ久慈号、はまゆり咲
く普代号

例3. 一両一両に各市町村の広告をつけるー例2に掲げた列
車に一両は久慈の広告、一両は普代の広告といった様に

○鉄道全体を博物館、郷土資料館のようなものにする。

例1. 車両そのものを動態の鉄道博物館とする。

SLなど

例2. 駅には、郷土資料・特別企画を展示する。

ホーム待合所に、コンテナを接続させて、展示コー
ナーとする。

例3. 車両そのものを動態の店舗とする。

移動しながら販売もするが、ある駅では止めて臨時
店舗となる。

2. 駅周辺の施設の計画

○ 海の利用

海の景観を生かす（海上、海中） → 海中展望塔

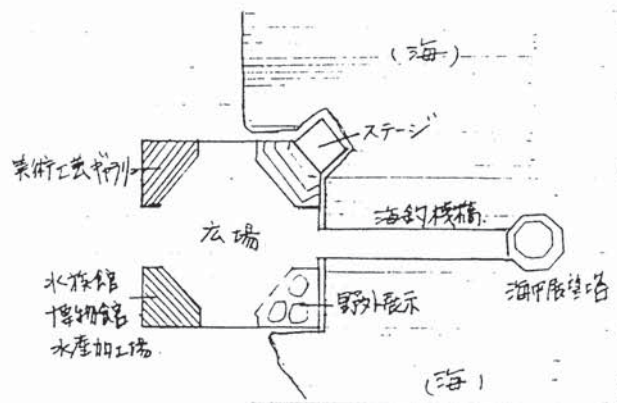
海洋資源（魚、貝、工芸品） → 水族館、漁業博物館

— 水産加工工場を観光客とのコミュニティーの場としたい。

釣り → 海釣棧橋（駅での案内を明確にする。）

- 海洋博物館（1500～2000㎡位）
水族館、漁業博物館、水産加工工場、美術・工芸ギャラリー
- 海上ステージ
- 海釣棧橋
- 海中展望塔

イメージ・スケッチ



○海洋スポーツセンター(3000～4000㎡位)

艇庫(ヨット)

体育館

プール

研修室

宿泊室

3. 人を集めるイベントの企画

例1. 演劇、音楽祭、野外映画の企画 → 野外劇場にて

例2. 海洋スポーツ大会の企画

例3. 会議(日本大会、国際会議等)

この企画においては、宿泊施設の完備が必要である。

年間計画により、町村もイベント計画をする。

☆ スポンサーの必要性

鉄 道 博 物 館 : 各社及び自動車、航空等

海 洋 博 物 館 : 各社及び漁業協同組合

ス ポ ー ツ セ ン タ ー : レジャー産業、スポーツ産業

会 議 場 : ホテル、不動産

目 次

- 1 三陸鉄道 各駅（イメージ）ネーミング
- 2 三陸鉄道 イラスト乗車券企画、デザイン
- 3 リアス・メイツ企画、デザイン
- 4 かるやかに、旅、さんりく 「345 Km バスポートさんりく」
企画、デザイン
- 5 全国観光まつり+三陸観光まつり企画
- 6 三陸、観光と生活のカレンダー企画
- 7 メッセージ・ワッペンの企画、デザイン
- 8 三陸鉄道 ヤングイベント・イン東京企画
- 9 三鉄、リアス祭企画
- 10 “円太郎バス”企画
- 11 三陸鉄道 特別列車のデザイン、企画
- 12 イベント列車 A企画
- 13 イベント列車 B企画
- 14 三陸鉄道シリーズ列車企画
- 15 鉄道店舗の商品構成についての提案
- 16 鉄道店舗出店企画
- 17 三陸鉄道動く駅売店企画、デザイン、設計
- 18 ネーミング入り商品発売企画
- 19 ボトル商品発売企画
- 20 開通記念列車企画
“海のサウンドと共に走ろう”

三陸鉄道(山田線含む)

各駅(イメージ)ネーミング



リアスの港	宮古 MIYAKO	リアス式の海岸線を誇る陸中海岸国立公園の玄関口。
向いに月山	磯鶏 SOKEI	宮古湾を隔てて重茂半島に月山が見える。
鼻曲がり	津軽石 TUGARUISHI	南部鼻曲がり鮭を産する津軽石川。
里の味	豊間坂 TOYOMANE	山菜の宝庫。
漁火ロマン	陸中山田 RIKUTYŪ YAMADA	ホタテを中心とした養殖漁業。
サーモン・ピンク	織笠 ORIKASA	織笠川は鮭ののぼり川。
四十八坂の	岩手船越 IWATE HUNAKOSHI	船越駅南の国道沿いの四十八坂は、昔は難所で奇談が多い。現在は、見晴しのよい場所。
片寄せ波	浪板 NAMIITA	浪板海岸。
舞台は回る	吉里吉里 KIRIKIRI	井上ひさし「吉里吉里人」の舞台といわれる。
鮭と鬼ごっこ	大槌 ŌZUCHI	昔からの漁業の町で、鼻曲がり鮭を産する大槌・小槌川(つかみどり)
鮭のふるさと	鵜住居 UNOSUMAI	大槌湾に面し、同じく鮭を産する。
海は宝石	両石 RYŌISHI	両石湾に面し、海産物が多い。

リアスの港	宮古 MIYAKO	リアス式の海岸線を誇る陸中海洋国立公園の玄関口。
向いに月山	磯鶏 SOKEI	宮古湾を隔てて重茂半島に月山が見える。
鼻曲がり	津軽石 TUGARUISHI	南部鼻曲がり鮭を産する津軽石川。
里の味	豊間坂 TOYOMANE	山菜の宝庫。
漁火ロマン	陸中山田 RIKUTYŪ YAMADA	ホタテを中心とした養殖漁業。
サーモン・ピンク	織笠 ORIKASA	織笠川は鮭ののぼり川。
四十八坂の	岩手船越 IWATE HUNAKOSHI	船越駅南の国道沿いの四十八坂は、昔は難所で奇談が多い。現在は、見晴しのよい場所。
片寄せ波	浪板 NAMIITA	浪板海岸。
舞台は回る	吉里吉里 KIRIKIRI	井上ひさし「吉里吉里人」の舞台といわれる。
鮭と鬼ごっこ	大槌 ŌZUCHI	昔からの漁業の町で、鼻曲がり鮭を産する大槌・小槌川(つかみどり)
鮭のふるさと	鵜住居 UNOSUMAI	大槌湾に面し、同じく鮭を産する。
海は宝石	両石 RYŌISHI	両石湾に面し、海産物が多い。

鉄と浜ッ子	釜石 KAMAISHI	釜石大観音。
番所の命助	平田 HEITA	三閉一揆の指導者。 三浦命助は、平田番所で捕えられた。
アイヌのえにし	唐丹 TŌNI	地名が、アイヌ語と関連がある。
スネカの訪れ	吉浜 YOSHIHAMA	小正月の行事。
科学の目	三陸 SANRIKU	三陸町には東大を始め東北大等の気象、地震 観測所がある。
海の百面相	甫嶺 HOREI	陸中海岸は、表情が豊かである。
椿の里	綾里 RYŌRI	寒椿が咲く。
貝塚めぐり	陸前赤崎 RIKUZEN AKASAKI	大同貝塚、蛸の浦貝塚がある。
長安・長英	盛 SAKARI	高野長英が長安寺の「あかずの間」で若い人に 説いた。

路線ネーミング

久慈—宮古間 北リアス線
釜石—盛間 南リアス線

三陸鉄道 各駅ネーミング I

琥珀いろ久慈	久慈 KUJI	琥珀の古くからの産地。
縄文の花	陸中宇部 RIKUTYŪ UBE	縄文文化の遺跡が多い（久慈市）
ソルト・ロードは	陸中野田 RIKUTYŪ NODA	野田塩として北上山地を越えて、盛岡又秋田まで塩を運んだ。明治まで続いた。
潮扱みの里	野田玉川 NODA TAMAGAWA	玉川海岸の製塩業。
義経の祈り	堀内 HORINAI	鶴鳥神社に源義経が航海の安全を祈願したという伝説。
はまゆう咲く	普代 HUDAI	普代村の花。
カンパネルラ	田野畑 TANOHATA	宮澤賢治の童話（銀河鉄道の夜）にててくる人の名。（ウミネコが群れている）
カルボナード	島越 SHIMANOKOSHI	宮澤賢治の童話にててくる島の名（はまなす家族公園がある）
泉湧く岩	小本 OMOTO	岩泉町唯一の川口。
旅の八郎	摂待 SETTAI	昔、摂待畑の3人兄弟の末っ子、八郎の伝説。
銀色のしぶき	田老 TARŌ	ウニ、アワビを始め、養殖漁業が盛ん。
平家のうた	佐羽根 SABANE	山麓にある地。平家の落人が住んでいた。
うぐいすの小径	一の渡 ICHINOWATARI	山麓にある地。

三陸鉄道 各駅ネーミング II

宮澤賢治の童話よりイメージ

1. イーハートーヴ	宮古	理想郷、グスコーヴドリの伝説。
2. サンガリン	一の渡	
3. クランボン	佐羽根	
4. サンムトリ	田老	火山の名。
5. オリザ	撰待	人の名。
6. マルトン	小本	野原の名。
7. カルボナード	島越	島の名。
8. カンパネルラ	田野畑	銀河鉄道、人の名。
9. ゴルドン	普代	地名。
10. フリオシン	堀内	海岸の名。
11. アルビレオ	陸中野田	
12.	野田玉川	
13. ザネリ	陸中宇部	人の名。
14. グスコーヴドリ	久慈	童話のタイトル。
15. バナナン	釜石	人の名(大将)。
16. ウルトラワーナ	平田	峠の名。
17. ケンタウルス	唐丹	鳥獣。
18. フリフリ	吉浜	人の名。
19.	三陸	
20. クーボー	雨嶺	グスコーヴドリの伝説。
21. ポンテローザ	綾里	黄色のトマト。
22. ベムベル	陸前赤崎	人の名。
23. ジョバンニ	盛	銀河鉄道、人の名。

駅 ネーミング 変更分

S 5 8 . 7 . 2 5

路線 ネーミング

58.7.23

久慈 - 宮古間

1. 北海線
- 2-1. リアス北線 2-2. 北リアス線
3. 白波線
4. あいつこ線
5. あかつき線

釜石 - 盛線

1. 南海線
- 2-1. リアス南線 2-2. 南リアス線
3. 岬線
4. あねつこ線
5. はまかぜ線

。平家のうた	佐羽根
平家ゆめのあと	佐羽根
うぐいすの小径	一の渡
リアスの港	宮古
サケ踊る	大槌
若者踊る	吉里吉里 小説に踊らされて吉里吉里にやつてくる
。舞台は回る	吉里吉里
鉄と浜つ子	釜石
浜つ子・鉄	釜石 鉄と名前を掛けた (架空)
。番所の命助	平田
アイヌ・おおらか	平田
榕の里	綾里

小 本 ネ ー ミ ン グ

1. 化石の浜辺小本
2. 白亜のタイムトンネル小本
3. 白亜の幻想小本
4. 太古のあかし小本
5. 化石竜の浜小本
6. リュウのおはなし小本

三陸鉄道

イラスト乗車券発売企画

御協賛願書

皆様、御周知と思いますが、来る4月1日に全国最初の第三セクター方式による三陸鉄道が開通致します。

私共の三陸鉄道は、リアス式海岸として世界に知られている岩手県三陸沿岸地域を走ります。

北の久慈から宮古までを北リアス線、南は釜石から盛を南リアス線と命名されました。

しかも各23駅には愛称がついております(別紙参照)。そのうち12駅は有人駅です。ここで発行する乗車券をイメージ・イラストで表現したものにしました。——イラスト乗車券

(別紙見本参照)

イラスト乗車券のデザイン意図と意義

イラスト乗車券は、色調・形状が12駅共全て異り、その駅及び周辺の特長をつかみ、駅の愛称にもふさわしく、デザインされておりま

す。乗車券は乗車記念として持ち帰れるよう工夫されておりま

す。観光客は思い出して記念になるものは持ち帰ります。例えばドイツニーランドのチケット、後樂園球場の半券、伊勢丹デパートのポストン美術館の入場券、北海道大沼公園の乗船券(㊦裏面は全てスポンサー広告入れ)など、この様なチケットは捨てるがたく三陸鉄道の乗車チケットも同等の価値感があります。持ち帰られると言う事は、他の人に見せる事に繋がり意識的ではない自然のかたちのPRに結びつきます。

このように三陸鉄道は、単に輸送機関にとどまらず観光専用列車のイメージを更に高めることと思

います。しかも、このチケットは世界に例をみないものですから、日本をはじめ、世界の鉄道マニアから注目され、又、パブリシティーとしても、マスコミが見逃がすはずがありません。

私共の目的は、国内全域、広く諸外国の方々に、日本に三陸鉄道ありの話題を提供するものであります。

尚、昭和57年度の6・7・8月を中心とする三陸海岸観光客入込み数は6,829,257名で、58年の入込み数は現在発表されておりませんが、57年度より天候に恵まれたため、58年は2割増かと推定します。

上記の動員数から、下記の通り制作予定を組んでおります。
ぜひ、この企画に御賛同下さしまして、御協賛を仰ぐ次第でございます。

記

イラスト乗車券制作概要

180万枚制作（1ヶ月60万枚×3ヶ月）

一社（一口）18万枚（12駅同じ広告掲載）

広告料 一口 360万円

協賛数 社（ 口）

広告の位置 乗車券の裏面、行先・運賃表示の下枠又は同じく裏面の囲り枠部分。

イラスト乗車券発売企画
協賛申込書

三陸鉄道株式会社 御中

御社名

所在地 電話

担当者御氏名

申込口数

申込年月日 昭和 年 月 日



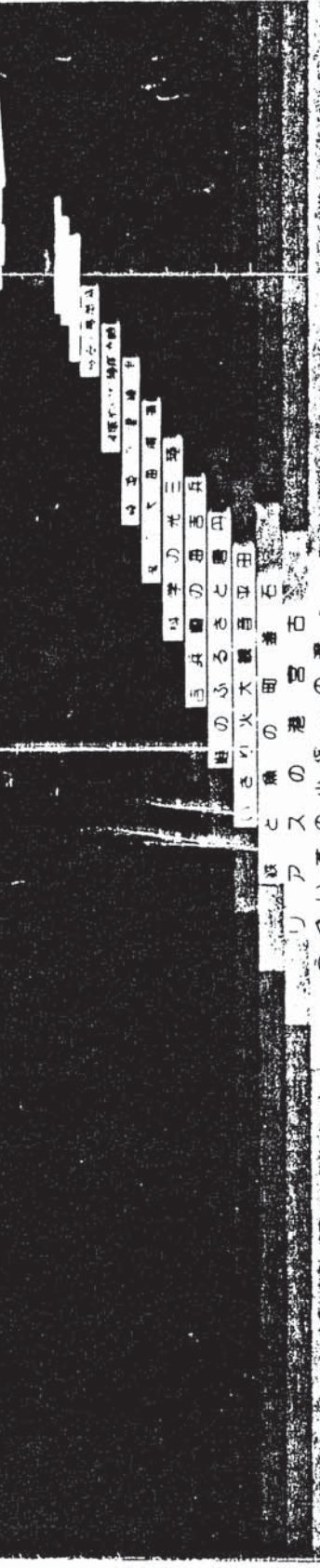




三陸鉄道株式会社

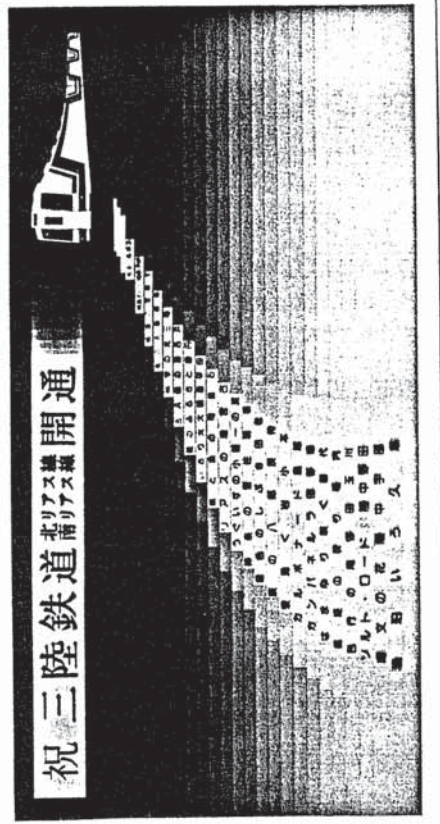


祝三陸鉄道北リアス線南リアス線開通



いさひ 大野 吉平 石
 川の 町 港 古
 リアスの 小 港 一 の 選
 うぐいすの 里 佐 羽 根
 神 桑 の し ぶ き 田 老
 銀 色 の 八 郎 掬 荷

泉 湯 く 岩 小 本
 カルボナラト田野畑
 カンパネリ咲く普代
 はまゆの 祈 堀 玉 川
 西行の 鷹 野 田 中 野 田
 ソルト・ロードは陸中宇
 繩 又 の 花 陸 中 宇 野
 琥 珀 い ろ 久 蓋 瀬



祝三陸鉄道開通

北リアス線
南リアス線

小田川電氣 明東中分

BNo.2233

乗替() 經由()

久慈 ←→ 宮古

昭和 年 月 日 立

年 月 日まで

運賃 出 巴 股 邊
昭和 年 月 日 郵船行

小田川電氣 明東中分

CNo.1234

乗替() 經由()

宮古 ←→ 久慈

昭和 年 月 日 立

年 月 日まで

運賃 出 巴 股 邊
昭和 年 月 日 郵船行

リアス・メイツ企画

S58.7.11

三陸鉄道開通記念旅行券発行の企画

1. 旅行券発行の意義

日本初の第3セクターによる三陸鉄道の開通を来年4月1日に控え、三陸海岸のアピールを図るとともに、旅行客導入の強力な宣伝手段を講ずる必要に鑑み、記念旅行券の発行を企画いたします。

2. 発行のシステム

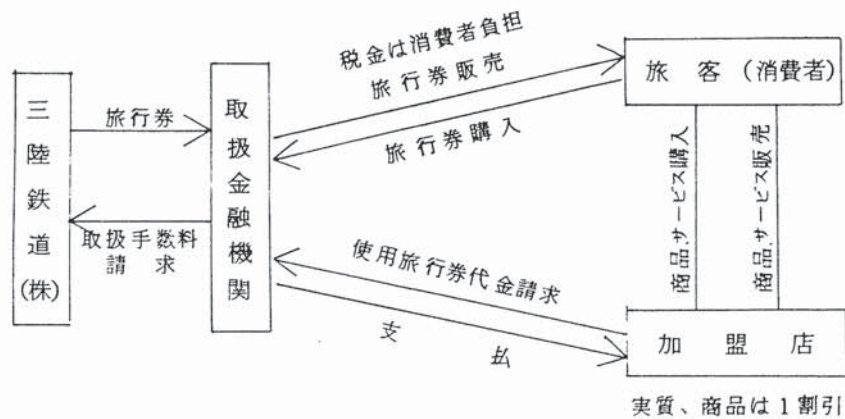
発行元 — 三陸鉄道株式会社

引受機関 — 都市銀行、地方銀行

利用範囲 — 日本国有鉄道

三陸鉄道(株)

三陸海岸に位置する	宿泊施設	} 加盟店
〃	観光施設	
〃	各商店	



手数料の中には
代金回収の取扱手数料も含む。

3. 発行期間及び利用期間

発行期間 昭和59年3月1日～昭和60年2月28日までの1年間

利用期間 昭和59年4月1日～昭和60年3月31日までの1年間

4. 旅行券のメリット

「旅行券」は回数券と同様に、例えば
現金1000円を支払い、1100円の旅行券を購入するという
ように、実質10%引きで運賃（普通乗車券のみ）、宿泊施
設、商店等広く利用できるものとする。

但し、運賃に関しては着駅は必ず三陸鉄道内の駅とする。

5. 旅行券の反響

これまでのポスター、パンフレットによる宣伝効果に比べ、国鉄運賃も1割引で購入でき、さらに、三陸の全域にある観光施設の利用、並びに買物も1割引で出来るというメリットは、旅行客にとって最大の魅力であり、旅行客に限らず、地元消費者にとつても、利用価値があり、さらに贈答用、記念品としての可能性がある。

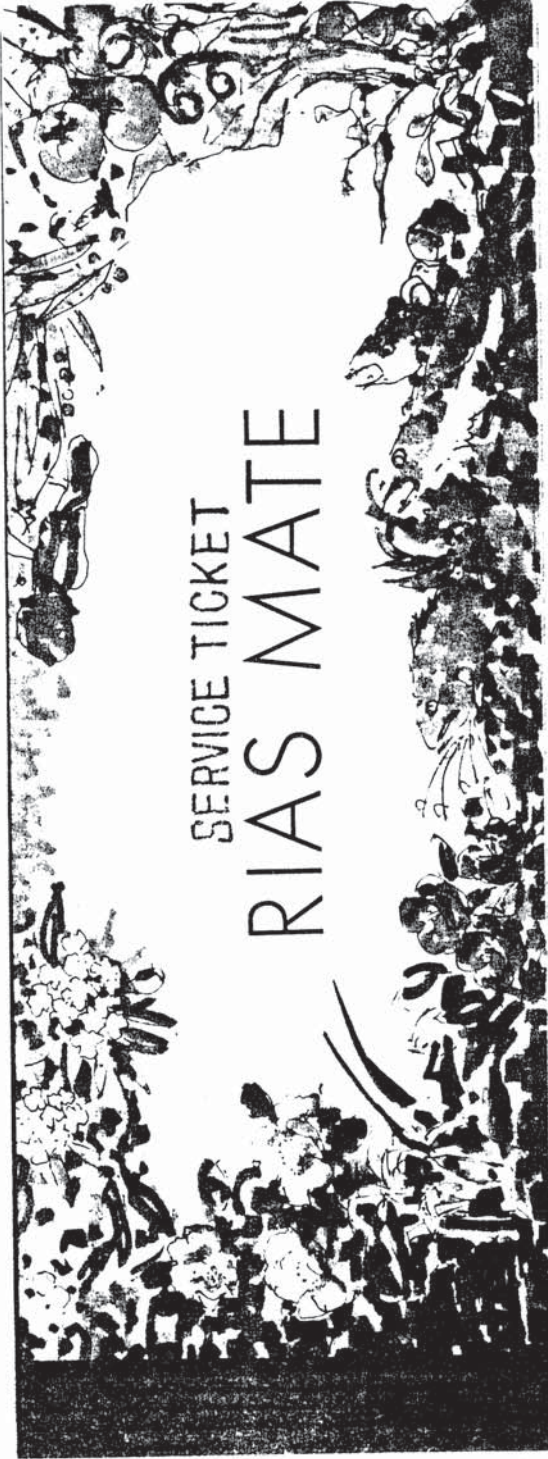
国鉄にとつては、乗車券が1割引と収入減につながるが、それを上回る旅行客の動員が充分に見込めると考えられる。

これにより、日本全国各地から、岩手県、三陸海岸に、観光客が訪れ、地域の観光施設も各商店の売上げ増加につながるものと確信する。

取扱銀行には、ポスター、パンフレット、マスコット、あるいは買上げ額によつては、記念品を置くのも一考と考える。

6. 検討課題

- 割引旅行クーポン券の名称を考える。
- 金融機関の取扱手数料は、日本国有鉄道と三陸鉄道で負担するが、その範囲をどう定めるか。
- 加盟店の充実が、旅行者に対するサービスであるが、地元の受入れをどうするか。
各市町村の観光協会を通じて _____



からやかに、旅。さんりく。

「345km。パスポートさんりく」

三陸の のりもの・やど・おみやげは
この一冊ですべてOK!

注目の岩手

三陸鉄道の開業にともなって、三陸の各地には、春夏秋冬をとわず、たくさんの観光客が四季の風情を求めて訪れられます。男性らしさに憧れて、神秘さに誘われて---限りない夢をだいて三陸を訪れる人々が、三陸らしさを十分に堪能できる旅のお手伝いにと「パスポートさんりく」を企画いたしました。のりもの・やど・おみやげがこの一冊ですべてOKという、観光客にとっては、メリットの大きなパスポートといえましょう。また贈答用としても、ユニークなものといえましょう。

三陸鉄道株式会社を発売元とし全国各地にPR、三陸への誘いを図りたいものです。

内容

のりものフリーパス
宿泊割引券
お買物小切手
アンケート用紙

} をセットしております。

○ のりものフリーパス

一関・北上・花巻・盛岡・八戸を
キー駅とし、キー駅からどんなコースを、
どの交通機関を利用しても同一料金で
設定。

国鉄・三陸鉄道・県交通・県北自動車の
交通機関は何度利用してもOKという
大変便利なパスです。

○ 宿泊割引券

指定の旅館・ホテル・国民宿舎を利用
したときに限り、宿泊料金の10%引のサ
ービスをいたします。

※ 指定店マーク(商標)制作。

○ お買物小切手

加盟店に限ってSHOPPINGした場合、
現金なし、11,000円分の小切手をご利用
いただけます。

※ 指定店マーク制作。

○ アンケート用紙（はがき大）

「パスポートさんりく」をご利用いただいた方
にアンケートをいただき、三陸鉄道より記
念品を進呈します。

アンケート内容

「パスポートさんりく」ご利用の目的
三陸鉄道の乗りごころ、サービスは
印象に残ったところは

三陸鉄道へのご要望

etc.

* 仕様 235mm x 237mm } フリーパス、割引券、小切手
カラ-4色印刷 } 広告頁、イラストマップ
○頁 } 指定店リスト etc

* 発行部数 100,000部

* 対ユーザー
発売料金 1冊 20,000円

* 販売方法 国鉄(首都圏)・三陸鉄道
県交通・県北自動車・各ツ-リスト
当企画加盟店

指定旅館、ホテル、商店、デパートなどは改めて
指定することとします。

広告スポンサーリスト(予定)は別添。

広告スポンサーリスト(予定)

(酒造) 酔仙酒造(陸前高田), 釜石酒造商会(釜石)
 上関伊酒造, 金千鳥酒造, 萩野酒店(遠野)
 赤武酒造(大槌), 菱屋酒造店(宮古)
 泉金酒造(岩泉), 久慈清酒造店, 鈴蘭酒造(久慈)

(タクシー) 気仙タクシー, 広田タクシー, 高田タクシー(陸前高田)
 大船渡タクシー, 東海タクシー(大船渡)
 青葉タクシー, 三陸観光タクシー, 釜石タクシー
 赤浜タクシー, 大槌タクシー(大槌), 田の浜タクシー
 コメヤタクシー, 陸中タクシー(山田), 津軽石タクシー
 マルヨシタクシー, 宮古タクシー(宮古), 久慈タクシー,
 光タクシー(久慈), 真崎タクシー(田老)

(レンタカー) トヨタレンタリース岩手(盛岡), 陸中観光タクシー
 (久慈)

(物産) さいとろ製菓(大船渡), 橋上市場(釜石)
 菅田のせんべい(宮古), 岩手罐詰(釜石)
 甘竹ブローラー(大船渡)

(観光) 釜石大観音(釜石), 観光船リアス丸
 (釜石 東北運輸)
 各地区民宿組合
 各地区商店協組合

ナショナルスポンサー トヨタ/日産/東芝/日立/
サントリー etc.

各市町村 (三王閣、くろさき荘、えぼし荘、北限閣、
タブの木荘、大植荘、宮古国民休暇村、
観光施設 etc.)

川徳 フェザン、益岡グランドホテル、益岡ターミナルホテル
県北自動車 マイヤ、玉木屋

(大船渡) 大船渡グランドホテル/椿島パークホテル
ホテル基石

(釜石) かまぶろ温泉松泉閣、ホテル花の井

(大植) 浪板観光ホテル

(山田) ホテル陸中海岸

(宮古) 沢田屋旅館/浄土ヶ浜パークホテル/
ホテル舟木/潮吹グランドホテル/宮古シー
サイドホテル/近江屋/熊安旅館

(岩泉) ホテル龍泉洞愛山/龍泉洞温泉ホテル

(田野畑) 羅賓荘

(ス慈) ホテル福乃屋

※ メリット

ユーザー-----便利である、料金が安い

広告主-----

「パスポートさんりく」

A) 制作費	印刷費	5,800,000
	製作費	800,000
	取材費	600,000
	企画費	1,000,000
	PLTスタンプ	1,500,000 (100)
	諸経費	500,000
		<hr/>
		10,200,000

B) 広告料	各自治体	5,000,000
	一般広告	4,000,000
	加盟店広告	2,000,000
		<hr/>
		11,000,000

C) 加盟料	A. 150,000 × 30店	4,500,000
	B. 100,000 × 50	5,000,000
	C. 50,000 × 20	1,000,000
		<hr/>
		10,500,000

D) 販売金額

① $20,000 \times 100,000 \text{部} = 20 \text{億円}$

※(注)

フリーパス

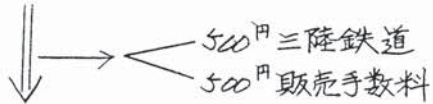
<発行日明示——1週間有効>

宿泊割引券

<利用証明欄 スタンプ>

加盟店 → 販売権利を与える

1冊 20,000円 販売価格



原価 19,000円

(内訳	おみやげ小切手	11,000
		運賃	7,000~8,000
			19,000

「全国観光まつり十三陸観光まつり」

企 画

S 5 8 . 8

全国観光まつり十三陸観光まつり

1. 浅草三社祭り

みこし 1台1組200人 費用300万

台東区観光課 佐藤

TEL 03-842-5311

2. 佐渡おけさ

1組15名 費用50万

両津市観光課 荒

(囃子8名、踊り7名) 1名当り6,000

TEL 02592-7-2211

↓
/

3. 阿波踊り

1組26名 1日15万 300万

徳島市観光課 小野木

TEL 0886-22-1171

○

○

○

○

○

お祭り大会収支

三陸鉄道

祭り参加者	150名 (1市町村)	1,500名 (10市町村)
<支 払>	300万	3,000万
みやげ	30万 (1名回数券 2,000円)	300万
合 計		3,300万

祭り参加者	150名	1,500名
	15,000名	150,000名
150,000名にもどり3割実質		45,000名
もどり1.5割		22,500名

<市町村収入>

祭り参加者	150名 (1市町村)	宿泊費2日 180万 (1名6,000円)
		みやげ 30万 (1名2,000円)
10市町村		2,100万

祭り予約客	200名 (1ヶ所2日間)	宿泊費 120万 1人6,000円
(10ヶ所2日間)	2,000名	宿泊費 1,200万
合 計		3,300万

「三陸、観光と生活のカレンダー」企画

S 5 8 . 1 0

三陸鉄道の開業に伴い、数多い開発事業の一環として「三陸、観光と生活のカレンダー」を作成することを企画致します。

<内 容>

別紙、原稿のように、各月の祭、行事、風習、それに付随する三陸の味しるべを掲載し、観光写真をも盛り込んだ「カレンダー歳時記」に構成します。

祭は、三陸だけではなく岩手県内をも含めます。

<形 態>

観光みやげ用として、コンパクトなものを心掛けることが重要です。

① 壁面用として、2種類 折りタタミ型

② 携帯用として、1種類 手帳型

詳細のヒナ型は、別途提出致します。

<販売又は配布>

鉄道店舗又は各地域みやげ物店で販売して戴きます。

又、各市町村にも配布して、地元の人々にも販売します。

<効果、意義>

観光客には、より深く三陸を知つて戴き、旅の記念として、更に印象的なものにさせると確信致します。

一方、地元の人々には、現在では伝承していくことが困難になつている祖先の信仰に支えられた生活、手をかけ心をこめた食生活を、毎日カレンダーを活用する事により、少しでも伝えることができ、改めて自分達の生活を見直し、昔の暮らし、人間の知恵に学ぶことと期待します。

メッセージ・ワツペンの企画

S58.8.11

三陸鉄道(株)全社員に、社員憲章《リアス・メッセージ》を表示したワッペン《メッセージ・ワッペン》を付けさせ、責任感と人間性豊かな社員づくりができるよう、企画致します。

意義 道德教育について、再度見直しが叫ばれている昨今、経済面に比べ、人間性の根本である精神面の成長の遅れが、さまざまな問題を起こしています。

メッセージ・ワッペンを付けることにより、三陸鉄道(株)の社訓ともいえるメッセージを乗客にアピールし、それにより、自己の鍛練の一手段とすることは、今日的意義が大と考えます。

内容 1. メッセージは1年を2ヶ月ずつ区切り、替えていく。

1. メッセージの内容

- | | |
|------------|---------|
| ① 思いやり | 9月、10月 |
| ② 責任感 | 5月、6月 |
| ③ 明かるいあいさつ | 1月、2月 |
| ④ 親切 | 11月、12月 |
| ⑤ 感謝 | 7月、8月 |
| ⑥ 努力 | 3月、4月 |
| ⑦ 再会 | 7月、8月 |

1. ワッペンの例



三陸鉄道開業記念イベント

豪華客船「にほん丸又は新さくら丸」を航海させて、鮮度100%の動く三陸市場として「海のショッピング」と称し、且つ、三陸鉄道開通第一号車「夢のリアス号」乗車への誘いの企画案。

<概略>

来年59年4月1日に開業する三陸鉄道第1号車に照準を合わせ、3月31日応募決定した一行300名を乗せて、東京晴海より三陸海岸へ向う。

まず、宮古へ入港。宮古発の第1号車に一部乗せる。

次には、釜石湾へ入り、残りの乗客を降ろし、今度は、三陸の物産を積み込んで「三陸洋上市場」の出航となる。

晴海に着くと、船内外で海産物中心の県産品のビーアール販売をする。

<内容>

乗船客一行には、陽春ののんびりとした海の旅と、のどかなローカル列車の旅を満喫させたい。

船内では、コンパニオン（案内嬢）やミス三陸、ミスさんさ踊り、特別船長、市長やクルーと共にサービスに勤める。

三陸の海の幸と三陸の酒で、ふんだんに料理を楽しんでもらう。民謡のひとつとき、コミックショーのひとつとき、又、豪華客船にふさわしい華やかなタレントの登場で、夜の洋上パーティを盛り上げる。

宮古に入港すると、花火、ブラスバンド、大漁音頭の手踊りで歓迎する。

出迎えのバスにより宮古駅へ、宮古駅でも地元の芸能をくり広げ、三陸鉄道株式会社社主が歓迎の挨拶、そして、待望の「夢のリアス号」の入場となり、開業のセレモニーとなる。

一行にもテーブルカットしてもらうのも一考。

三陸鉄道の第1号車内では、コンパニオンが待機し、一行に岩手の名産品をプレゼントする。

釜石においても同様である。

東京からはるばるやつて来た一行を、感激させる趣向を存分に取り入れる。

列車は、宮古駅から久慈駅へ、あるいは釜石駅・盛駅へ到着。ここでも歓迎の準備をしておく。

夕刻、宮古港へ「新さくら丸」入港。一行の中で希望者だけ乗船。

宮古市長歓迎の挨拶をする。

当夜は、宮古湾に停泊。

翌日、三陸の物産と県人を積みこんで晴海へ向かう。

東京では

事前にくり出していたキャラバン隊が銀座を中心に、洋上市場と三陸鉄道開業のキャンペーンを張っており、晴海埠頭は「新さくら丸」入港と同時に、市場は賑いと活気が溢れる。

甲板には、釜石の虎舞や、獅子舞、大漁太鼓等をくり出させる。船内、市場内には、販売ばかりでなく、模擬店、実演コーナーや観光案内コーナーも設営され、三陸鉄道の開業案内と共に、岩手の物産、観光案内にも一役買っている。

又、三日間、三陸の旅を楽しんだ300名の観光客も、大いに岩手県人の素朴な人柄や、海の幸、山の幸の豊かさをPRすることになるメリットもある。

※にほん丸又は新さくら丸の入る港は、久慈には入れない。宮古、釜石に入港可能である。

釜石は、新日鉄の埠頭を借りることを前提とする。

<時期>

春 3/31 → (4/1) → 4/2

夏 7/25 →

冬 12/25 →



船 旅 の ご 案 内

「三陸鉄道、ヤングイベント・イン東京」

企 画

S 5 8 . 1 1

三陸鉄道の開業は、全国の鉄道マニアの人達にとつても新しい星の出現です。

地元の人々の「我らの鉄道」意識の高揚もさることながら、かつて、都会から若者が「遠野」を求めて来たように（現在も続いています）、夢を探しにやつて来させる作戦をどう立てるかが重要です。

その為には、都会で生活する若者に、岩手の三陸沿岸のPR、三陸鉄道のユニークな魅力について、知らしめる必要があります。

それは、従来のように都内デパートの物産展や、キャンペーンではなく、直接若者が若者に呼びかける方法が訴求効果、大と考えます。

そこで、東京都内で、学生（若者）集団によるイベントを企画することを御提案申し上げます。

「内 容」

スタッフ	ヤング（大学生中心）を、スタッフに東京でイベント企画をする。	
実行委員会	2名	
企画本部	1名	
企画部	6名	
スタッフ	300名	
企画経費	普通乗車券、記念乗車券、ネーミング商品、キャラクター商品等の売上によつてまかなう。	
販売方法	銀座、渋谷、原宿、新宿、池袋、上野の6ヶ所駅前、もしくは近くに臨時のネーミング店を設営、20日間をもつてイベント開催する。それぞれお店にはキャップをおき、販売の助手とし、外販50名は受持ちとする。	
設営、運営	設営費	1ヶ所 35万
	家賃	3万（1日） 60万（20日）
	雑費	2万（1日） 40万（20日）
	（他、外販をする。）	

売上目標	30万(1日)	600万(20日)
	{	}
	60万(1日)	1200万(20日)
販分方法	元売会社	1.5割
	企画会社	3割
	スタッフ	2割